

令和2年度 第3回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	令和3年2月26日(金) 10時30分～11時40分
場 所	サンエールかごしま 5階 特別会議室
出席者 (委員) (事務局)	委員16名 事務局5名 山田会長、笹川副会長、石走委員、大石委員、大重委員、小嶋委員、曾田委員、瀧川委員、竹林委員、中崎委員、花田委員、福島委員、藤田委員、松野委員、三輪委員、村山委員 (欠席：川崎委員、黒岩委員、竹田委員、渡委員) 市民文化部長、男女共同参画推進課長、係長ほか2名
会 次 第	1 開会 2 議事 (1) 第3次鹿児島市男女共同参画計画の策定に向けた提言について 3 閉会
議事概要 ○委員 ●事務局	<p>2 (1)</p> <p>提言1. 政策・方針決定過程への女性の参画拡大</p> <p>○男性が選ぶ女性管理職では、オリパラ前会長の発言ではないが心得ている方ということになりかねない。女性が管理職に就いて、女性の目で選ぶことができるようにしなければならない。また、女性自身が理解していないことも現実。クォータ制で目標を定めないとなかなか数字は上がらない。勇気があることだと思うがそのくらいのアクションを起こさないと難しいと思う。</p> <p>○小学校は女性教職員の割合が増えてきており、管理職も増えている。ネックは働き方改革で、管理職の働き方も考えていかないと、管理職になりたいという気持ちが育たない(男性も女性も含めて)。</p> <p>○全国の弁護士会組織ではクォータ制が始まって数年。検証はまだだが、とりあえずやってみることが他へのアピールにもなる。</p> <p>提言2. 働く場における男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの推進</p> <p>○男性の育児休業・介護休業の取得は低い。介護は男女ともだが、どうしても制度に限界がある。誰もが希望する働き方がかなえられればそれに越したことはないが、今ある法律の中で頑張っている状態。</p> <p>提言3. 多様な属性の人々の人権の尊重と自立への支援</p> <p>○多様性の尊重は各個人の規律性があるので、一義的にコントロールすることは難しいが、規律性を含めた価値観を、鹿児島市、他の地域、場合によっては国と比較してどの基準がスタンダードなのか、はっきりと足元を見ることが大事。大きなギャップがあれば埋めていく。あるべき姿を行政なり国が示す必要あり。</p> <p>○市はSDGs 未来都市に選定されたが、ジェンダー平等に関するKPIが設けられておらず、取組が弱いと感じた。せっかく選定されたので、向上しているのか、伸び悩んでいるのか見えるようにした方が良い。</p> <p>提言4. 女性に対するあらゆる暴力の根絶</p> <p>○国の計画を見ると「性犯罪・性暴力」とセットになって出てくる。提言にも是非セットで記載を。県の資料に性犯罪・性暴力について5年ぐらい前からどのくらい増えているかというデータがある。この裏付けに基づいて課題としてこういうものがあると提言に示した方が良いのではないか。</p>